1．ネイチャ－クラフトとは

2016/8/21

ネイチャークラフトとは、自然の材料(木、竹、ツル、木の実や葉など)を利用して想像したり工夫しながら何かを手作り(創造)することの総称です。

① 自然の材料を使ったクラフトは、子どもたちに自然への関心を高め、作る過程や遊びを通じて自然との一体感を感じさせます。

② 自然の素材に触れ、五感と想像力を頼りに森の動物などをイメージして作ると、思いがけない表情の作品が生まれます。
自然の材料は放っておけば朽ちていくものですが、その材料で作った作品に生命や魂を吹き込むのがネイチャークラフトです。

③ 現代の子どもたちの遊びであるゲームやアニメは刺激的な仮想現実であり、実体がなく人間本来の生き物としての本能を育てるものではありません。
ネイチャークラフトは、自然の材料に触れてそれらを知り、自らの五感と想像力でカタチあるものを創造し、それで遊んだり飾ったりすることを通じて子どもたちの感性や意欲を育てます。

2．ネイチャ－クラフトの意義

① 自然に親しみ、素材の特徴や名前を知る。
② 知恵と工夫を用いる<u>創造力と想像力</u>を養う。
③ 技術(切断、接着、磨きなど）を習得し<u>巧緻性</u>を高める。
④ 自然との交流、一体感を味わう。
⑤ 和み、癒し、環境教育

想像力：現在自分の知識内にある事をもとに心に思い描く力
創造力：現在存在しないものを新たにつくりだす力
巧緻性(こうちせい)：手先の器用さ、巧みに指先を使う能力のこと
この能力を幼児期に鍛えることが幼児脳の発達に大きく影響し子どもの知能は高められます。

3．心構え、留意点

① フィールドを探索し、自然の恵みである素材集めから楽しむ
② 自然を荒らさない、過剰な採集や攪乱は慎む
③ 所有者の了解を経て採集が原則
(落ちているものは構わないことが多い)
④ 素材の組み合わせの妙を楽しむ
⑤ 虫の発生や素材の衰退に配慮する

⑥ **<u>単に作る楽しみ、遊ぶ楽しみだけで終わらないようにする</u>**
自然を大切にする視点を忘れず伝える
自然素材の特徴や、他の生き物との関係、人の利用など

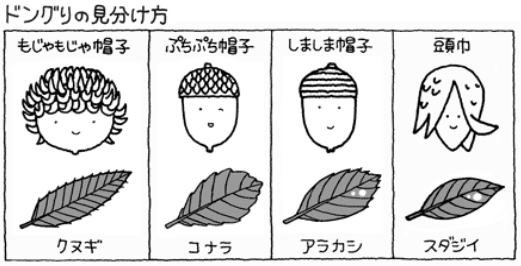
⑦ <u>安全には十分配慮する</u>
刃物・遊ぶ場所・指導・監督、キャラリーにも注意

4．作品づくりにあると便利な道具類

①	作業台	学習机の半分ぐらいのスペースは、ほしい。 作業台には、カッティングボードや段ボールを敷くと傷めない。（新聞紙を敷くだけでもよい）
②	グルーガンとホットメルト	通称ホットボンドともいい、引き金を引くと電気の熱で溶けた接着剤が先端から出る。 ２０秒ほどで冷えて固まる。簡単に接着できる優れものであるが、糸を引くことや、 木工用ボンドと比べると接着力が弱いなどの欠点がある。
③	木工用ポンド	つまようじの先に付けて使うと、細かい所や小さな木の実を確実に接着できるが 乾燥に時間がかかるので、動かないように固定する必要がある。 グルーガンと組み合わせると素早く確実に接着できる。
④	はさみ	刃先の丈夫なはさみが長持ちする。 固い物には、剪定ばさみやニッパー等を使う。
⑤	切り出しナイフ	枝を切ったり、実を分けたりする時に使う。カッターナイフでもよい。
⑥	ピンセット	小さな実などを扱う時に、あると便利。
⑦	キリ(四つ目キリ、ハンドドリル)	実などに穴を明けて、つまようじや竹串を刺してしっかり固定する。
⑧	その他	モール、針金、ニッパー、白黒等の油性ペン、竹串、ようじ、両面テープ等

5．色々な森からの贈り物　(自然素材の一例)

(ドングリの仲間達)
・イチイガシ　・シラカシ　・アラカシ　・ウバメガシ　・シリブカガシ
・マテバシイ　・ツクバネガシ　・ウラジロガシ　・ナラガシワ　・アカガシ
・コナラ　・ミズナラ　・スダジィ　・アベマキ　・クヌギ　・カシワ　等



(マツボックリの仲間達)
・アカマツ　・クロマツ　・トウヒ　・カラマツ　・(エビフライ)
・モミジバフウ　・ヒノキ　・ヤシャブシ　・ツガ　・メタセコイア　・スギ

(草の実の仲間達)
・エノコログサ　・ユリ　・クズ　・ジュズダマ　・フウセンカズラ
・トウガラシ　・フジ　・ヒマワリ　・レンゲソウ　等

(木の実の仲間達)
・ツバキ　・シキミ　・カエデ類の種　・ウツギ　・ムクロジ　・ヤシャブシ　・キリ
・ナンキンハゼ　・桃の種　・クチナシ　・ハナミズキ　・オニグルミ　・エゴノキ　・フヨウ　等